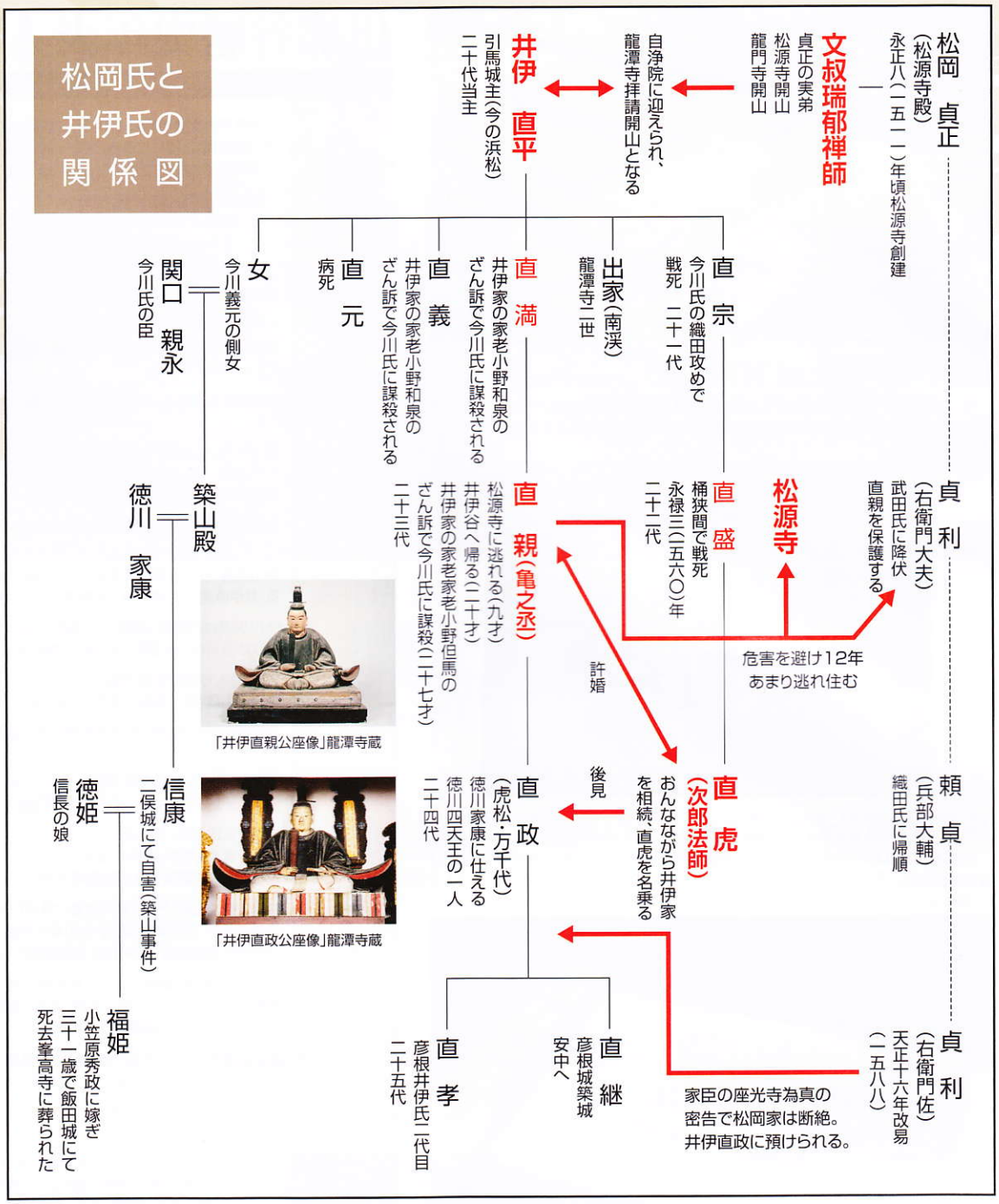
おんな城主の許婚
井伊直親は
伊那谷に潜んでいた

なぜ直親（亀之丞）は伊那谷に逃れたのか？

おんな城主として井伊家を守り抜いた直虎の許婚・井伊直親は幼少期に伊那谷の松源寺（高森町）に潜伏していた。直親が生き延びていなければ幕府を支えた名門・井伊家も開国の道を開いた井伊直弼も存在しなかった。

なぜ直親は伊那谷へと逃れたのか、井伊家と伊那谷の豪族・松岡家との関係を探る。

松岡氏と井伊氏の関係図



松岡家と井伊家 ～井伊直平は松岡貞正の実弟を招き菩提寺の院主とした～

松源寺を創建した松岡貞正（12代当主）の弟・文淑瑞郁禅師は京都・妙心寺の住持となった高僧で、井伊直平は禅師を井伊家の菩提寺・自浄院（のちの龍潭寺）の院主として迎えた。これが縁で直親（亀之丞）は松源寺に身を隠した。のちに直政は改易になった松岡貞利の命を助けこの恩にこたえた。